

## 2 地球温暖化の影響

### (3) 21世紀末の気象

理科…自然と人間

#### 【真夏日】

・最高気温が30℃以上35℃未満の日

#### 【猛暑日】

・最高気温が35℃以上の日

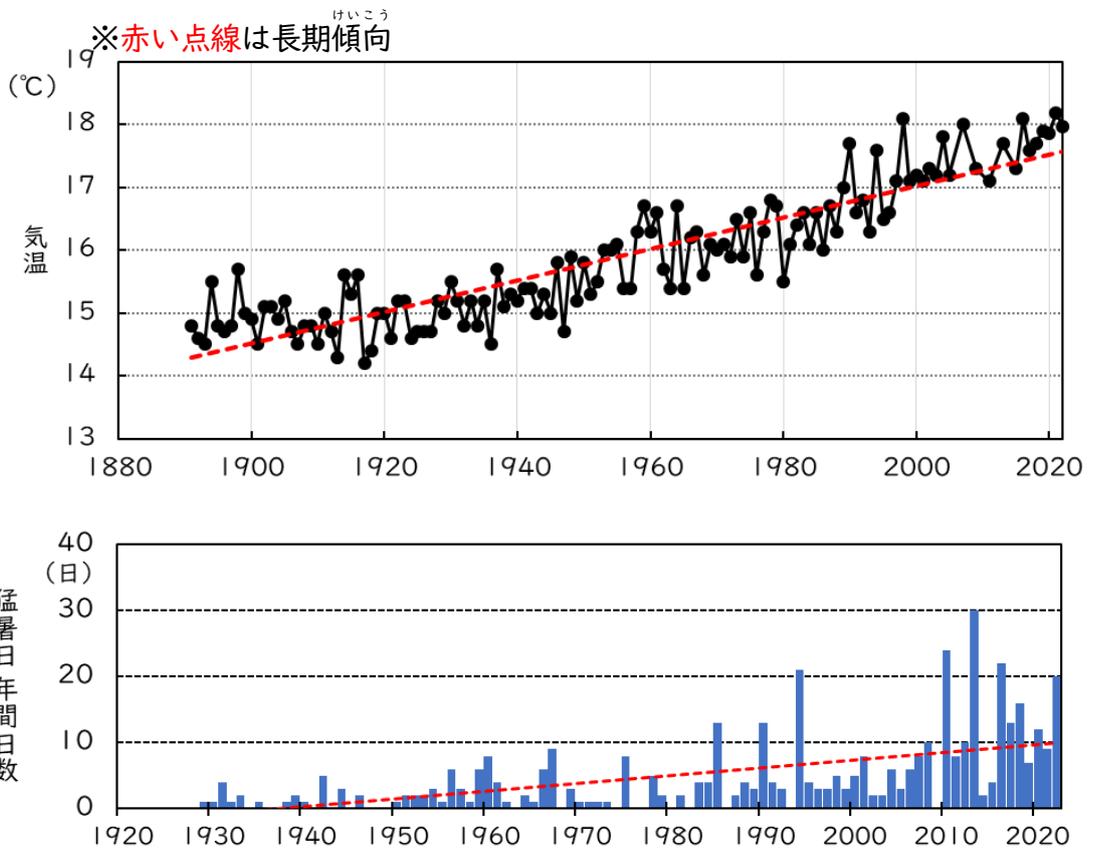
#### 【IPCC】

・国連の活動の一つで「気候変動に関する政府間パネル」のこと。  
・世界中の気候変動の研究状況を整理した報告書を公開している。  
・2019年の特別報告書では、気温上昇を2℃よりも1.5℃未満におさえることで気候影響は大きく異なることが説明された。

近年、平均気温が上昇し、真夏日や猛暑日といった暑い日も増えています。福岡の年平均気温は、100年で2.5℃の割合で上昇しており、日本の年平均気温の上昇割合(1.3℃/100年)よりも大きいことが分かりました。

また、福岡の猛暑日は、10年当たり1.2日の割合で増加しています。

■福岡の年平均気温(上)、猛暑日数(下)のうつりかわり\*1



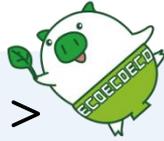
このまま地球温暖化が進むとどうなるのでしょうか。世界中の科学者が協力して100年先の温度を予想しています。それによると、もし地球温暖化を防ぐ努力をしないと、21世紀末には世界の気温が、20世紀末に比べて3.3～5.7℃上昇すると考えられています。(出典：IPCC第6次評価報告書\*2)

\*1 九州・山口県の気候変動監視レポート2021(福岡管区気象台)を基に作成

\*2 IPCC(2021)「第6次評価報告書」



## <話し合ってみよう>



世界的な予測に基づいて、将来、九州各県の気象がどうなるか予測されています。下の表は、福岡の予測結果をまとめたものです。この表から、福岡の将来の気象について考えたことを話し合ってみよう。

### ■ 福岡県の将来の気象予測\*1

項目	20世紀末	将来予測	(参考)
	1980~1999年	2080~2099年	2022年
年平均気温	16.7℃	4.1℃ <sup>じょうしょう</sup> 上昇	18.0℃
真夏日	52日	約63日増加	87日
<sup>もうしよ</sup> 猛暑日	5日	約35日増加	20日

(話し合いのポイント)

- ・ 人間の生活や健康への<sup>えいきょう</sup>影響
- ・ 農林水産物への<sup>えいきょう</sup>影響

◇考えたこと

◇話し合った結果



\*1 九州・山口県の地球温暖化予測情報第2巻 2019年5月増補版 (福岡管区気象台)